

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずふね体操クラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 14日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操教室も同会社で運営しているため、運動療育・指導での情報や専門性の高い指導員を配置することができる。 今年度より理学療法士が勤務にあたります。	子供達の好きな遊びを発展させられる様に色々な運動がすぐアクセス出来るよう準備されている。	新しい運動器具の設置や集団プログラムの充実を図りたい。
2	体育館があるため、天候に関係なく身体を思いっきり動かす事ができ、発散できる。トランポリン・マット・とび箱などの器具、環境が充実している。	こども、それぞれの支援目標(5領域のうち運動・感覚)に応じて、運動療育のプログラムを組み、集団活動、個別活動に分けて取り組んでいる。	常に子供達の興味や関心は変わるので、様子を見て、定期的に関き取りをしてニーズに合わせ環境を整える
3	跳び箱・サーキットトレーニングなど数値や見た目でも成長がわかる活動を導入しやすく、成長体験を生み出しやすい環境であり子供の自信につながりやすい。	ただ預かるだけではなく運動能力を伸ばすという明確なコンセプトを保護者にわかりやすく伝えられるよう、運動している動画などSNSを利用してお伝えしています。	体育の授業への苦手意識がある子も多いので、その時その時の学校体育の内容を保護者と共有し、個別指導のような形でフォローしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療育のプログラムに時間を確保している為、特に夕方の学校のある利用日には、学習支援に限りがある。宿題以外の取り組みは難しい。	運動療育に時間の確保を行っている為。	可能な限り学習支援がスムーズに行えるように準備を行う。
2	公共の場での活動・体験を増やし、自立に向けて支援していきたい。	安全面を確保する方法が困難な場合がある。	バスや電車移動の利用を増やすなど子供たちが楽しみながらできるよう企画する。
3	空間が広く活動がダイナミックになる分、衝突や転倒、まあ運動で興奮した状態での事故や怪我のリスクがある。	広い範囲に目を配る必要があり、子供達の状況に合わせて安全面・活動の内容等に臨機応変な対応が求められる事	運動指導の経験があるスタッフの確保等も検討していきたい